

1	事業名称	タイニーキャンプ(低学年の自然体験)				
2	新規・継続	継続	7年目			
3	趣旨	小学校低学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して、自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	6月14日(土)	～	6月15日(日)	1泊2日
		2回	9月6日(土)	～	9月7日(日)	1泊2日
		3回	1月24日(土)	～	1月25日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	90人(各回30人)				
		内訳 1回→小学2年生 2回～3回→小学1、2年生				
7	共催・協力・後援	後援 長野県教育委員会・山梨県教育委員会・愛知県教育委員会・伊那市教育委員会				
8	参加者人数	回数	人数			
		1回	35人			
		2回	30人			
		3回	30人			
9	参加者類型	回数	人数	内訳		
		1回	35人	2年男子:15人、2年女子:20人		
		2回	30人	1年男子:11人、1年女子:6人、2年男子:7人、2年女子:6人		
		3回	30人	1年男子:9人、1年女子:2人、2年男子:11人、2年女子:8人		
10	参加者地域	長野88人、山梨6人、京都1人(総合計95人)				
11	参加者分析	広報(チラシ配布)の関係で、長野県内及び山梨県の参加者が多いが、ホームページを見て、関西地方からの参加があった。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		100%	0%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	低学年のため、記述によるアンケートは行っていない。				
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばりカードの活用 3つのめあて「あいさつしよう」「自分のことは自分でしよう」「みんなで協力しよう」について、各活動場面毎に「がんばりカード」を活用した。自分たちの活動を視覚的にふり返り、「がんばったらシールを貼る」ことで、次の活動への意欲化を図ることができた。</li> <li>・「冒険の森の活動」の充実 松本短期大学名誉教授の柳澤秋孝先生の指導が充実していて、子どもたちの運動遊びをしたときの様子から満足度が高いことがわかる。</li> <li>・冬の活動 そり遊びやスノーキャンドル作りは、ボランティアとともに活動する時間が長く、子どもとのコミュニケーションをさらに図ることができた。</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への事後アンケート(実施1ヶ月後) 事業参加後の子どもの変容や成長を知るため、アンケートを実施した。その結果「初めて親元を離れ、子どもどうして集団宿泊体験をさせたことはとても良い経験となった」「参加する前と後では自信に満ち溢れた様子で頼もしく思えた」という回答が多く、体験を通して成長した子どもがたくさんいることを把握した。 アンケートの自由記述には、「布団の準備・片付けや食事の準備など、家の手伝いをするようになった」などと書かれていて、このキャンプを通して、自主性を育むきっかけになったことが成果と言える。</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人ボランティアの活躍 当施設のボランティアは、教職を目指す学生が多くいる。宿泊体験を初めて行う児童に寄り添ったり、野外調理の指導や本の読み聞かせを行ったりと数多くの場面で活躍することができた。</li> </ul>				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場で課題となっている「発達障害」や食物アレルギーをもつ児童の参加が増えている。事前に保護者との連携を密にして、細かい情報を得ると共に、職員とボランティアによるサポート体制の確立を図らなければいけない。</li> <li>また、状況によっては、保護者の理解を得て、参加を断ることもあり得る。</li> </ul>				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの確保が難しい。</li> <li>・冬のキャンプでは、簡単な野外調理しか行えないので、追加で餅つきを実施した。地域の研修指導員とコミュニケーションを図れることは良いが、直接手で餅を握ることから、インフルエンザやノロウィルスの病気への感染も心配である。今後検討が必要と考える。</li> </ul>				

プログラム展開	日程・時間	夏のプログラム	担当（講師等）
	<b>1日目（土）</b>		
開会式	11:30～12:00	開会式	国立信州高遠青少年自然の家職員
	12:00～13:00	昼食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
自然体験活動	13:20～16:40	「冒険の森」活動 ①コアラの木登り ②サルの川わたり ③森のくまさん ④ピョンピョンうさぎ  ※雨天屋内体育館 ・ワニの川遊び ・ラッコの綱引き ・サルのロープ登り ・くまさん歩き ・ピョンピョンうさぎ	国立信州高遠青少年自然の家職員 松本短期大学名誉教授 柳澤秋孝氏 ボランティア
	17:00～17:20	夕べの集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	17:20～18:30	夕食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
読み聞かせ	18:30～19:30	入浴	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	19:30～20:00	絵本の読み聞かせ	ボランティア
	20:30	就寝	ボランティア
	<b>2日目（日）</b>		
野外料理	7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	7:20～8:00	朝食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	8:00～9:00	清掃・荷物整理	ボランティア
	9:30～12:00	野外料理（すいとんづくり）	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	12:30～13:00	ふりかえり	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	閉会式	13:00～13:30	閉会式



「冒険の森」活動 コアラの木登り



「冒険の森」活動(逆さ下がり)



「自分で」シート敷き



絵本の読み聞かせ



はじめての火おこし体験



野外料理の「すいとん作り」

プログラム展開	日程・時間	冬のプログラム（参考）	担当（講師等）
	<b>1日目（土）</b>		
開会式	11:30～12:00	開会式	国立信州高遠青少年自然の家職員
	12:00～13:00	昼食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
自然体験活動	13:20～15:00	そりすべり ・100mと120mコースを自由滑走 ・個人で滑走したり、キャンプの仲間やボランティアと滑走したりする。	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	15:30～16:15	スノーキャンドル作り ・スコップやスプーンで自由に雪像を作る。	
	16:40～17:00	タペの集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	17:00～18:00	夕食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	18:00～18:45	入浴	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
読み聞かせ	19:00～20:00	絵本の読み聞かせ	ボランティア ボランティア
	20:30	就寝	
	<b>2日目（日）</b>		
	7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	7:20～8:00	朝食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	8:00～9:00	清掃・荷物整理	ボランティア
もちつき	9:30～12:00	もちつき	国立信州高遠青少年自然の家職員 研修指導員 ボランティア
	12:30～13:00	ふりかえり	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
閉会式	13:00～13:30	閉会式	国立信州高遠青少年自然の家職員



「冬の活動」ボラと一緒にそり遊



「スノーキャンドル」づくり



スノーキャンドル点灯



研修指導員ともちつき体験



お餅がおいしい



野外料理 はじめての包丁

(担当 米林 尚希)